

1. 義務教育学校創設の目的

児童生徒の「学び」と「育ち」の系統性・連続性を意識した指導を行うため、9年間の連続した学びの中で、小学校と中学校が共に義務教育学校の一貫を形成する学校として、学習指導や生徒指導において互いに協力し、責任を共有して目的を達成する「義務教育学校」として創設します。

系統性・連続性を意識した小中一貫教育	特色ある9年間の学び
異学年交流による精神的な発達	中1ギャップの緩和・解消
施設の老朽化	土砂災害警戒区域等の指定

2. どんな学校になるか

○西側・東側に新しい校舎を増築、既存の校舎を改築し、学年間が交流しやすい回廊型の校舎になります。

○職員室を2階に配置し、1階を充実した学びのフロアになります。1階に新設する「図書メディア」スペースには豊富な書籍を自由に読んで読むことができ、自習スペースなどもあります。また、大階段を授業の発表の場と活用することもでき、探究学習の充実が期待できます。

○各学年の教室のそばには「オープンスペース」があり、教室をこえて学びの範囲が広がります。大東市が推進する協同学習や、個別最適学習など特色ある学びに活用します。

○増築する東棟の3階に「小アリーナ」を設けます。既存の体育館と併用し、普段の体育の授業だけでなく、発表や説明会の場として活用します。

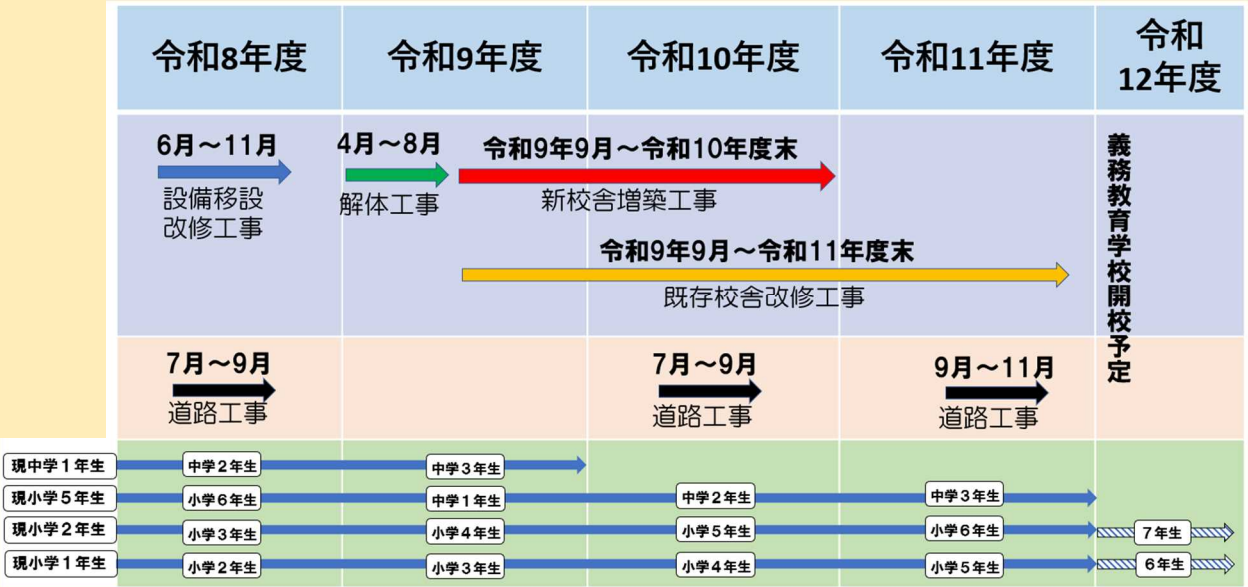
○全ての学年で、自校調理方式の給食となります。

○北条公園の南側を、学校共用部として平日は学校が使用し、休日は公園として開放します。

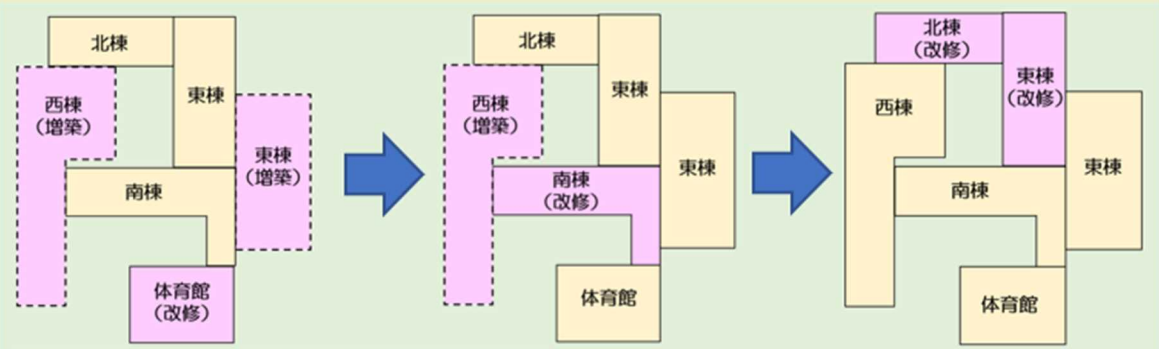


3. 工事期間

全体の工事は令和8年度6月から開始する予定です。校舎の工事は令和9年度の2学期より開始する予定です。予定どおりに開校することができた場合、現在小学1年生の児童が6年生の時に義務教育学校に移ることとなります。



北条中学校の教育を止めないために、工事が完了したエリアに教室を移し、回転させるよう工事を進めていきます(ローリング計画)。



4. その他

今回の増築・改修工事に合わせて、西側の市道の整備工事を実施します。現在学校の敷地となっている箇所を道路として拡幅し、歩行者や車両が安全に通行できるように整備します。

